

報 告 書

開 催 日 時	平成26年1月25日(土) 19時00分～21時00分	
自治協議会名	桐ヶ丘地区住民自治協議会	
開 催 場 所	桐ヶ丘地区市民センター	
出 席 議 員	前田孝也、市川岳人、生中正嗣、百上真奈	
	司 会 者	生中正嗣
	記 録 者	百上真奈
	報 告 者	市川岳人
参 加 人 数	15 名	
主 な 意 見 提 言 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道になることが決まっているが、10年待っても進展がない。議会としてどのように考えているのか。現在のコミュニティプラント施設を市に移管することが、一番合理的だと考える。平成27年度の計画に入るよう、支援して欲しい。 ・ 当地区は今後、一気に高齢化が進み、交通・生活支援の問題が深刻かつ大きくなる。名張市のように交通・生活支援の取り組みが地域で行えるよう、条例化して欲しい。 ・ 地区市民センターの自治センター化の目的は、地方交付税が減り社会保障費の支出が増えるのでなるべく予算を使いたくないからだと考えるが、議会はどのように考えているか。 ・ ・ ・ ・ 	

伊賀市議会議長 様

平成26年 2月 4日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成25年度議会報告会2班

代表者 前田 孝也

報 告 書 (別紙)

開 催 日 時	平成26年1月25日(土)	議会報告会2班
自治協議会名	桐ヶ丘地区住民自治協議会	
庁舎整備 について 主な意見 ・ 提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・一番交通が混むところに庁舎があることは問題である。 ・新しい場所に庁舎を建てるということが、前市政では封じられていたことに違和感を感じた。 ・合併した他の自治体では、まず交通計画を組み立て、そのうえで公共施設をどうするか考えているが、伊賀市はそうになっていない。 ・四十九町に移転したら、新しい交通体系ができるのではないか。 ・現庁舎は利用しにくく、わかりにくい。 ・ 	
医療の充実 について 主な意見 ・ 提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	
観光の推進 について 主な意見 ・ 提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地にするなら夜も楽しめるお店が必要であり、それに合ったお店に変えなければならない。 ・現庁舎を保存するなら、地域全体を風致地区にする条例をつくって残すべきである。 ・庁舎と観光の風致地区は共存できるのか。 ・ ・ ・ 	